

- 1 題材 一人一人が活躍する 委員会活動  
(イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解)

## 2 題材選定の理由

○ 本学級は、縦割り班活動や集会活動の際に5年生としてどのように行動すると良いのか常に考えてきたことで、他学年に進んで関わろうとしたり、自分にできることを見つけようとしたりする姿が見られるようになってきた。もうすぐ最高学年になるという意識を持ち、6年生の活動の様子に着目する児童も増えている。一方で自分に自信がなく周りの目を気にすることから、積極的に発言したり行動したりすることができない児童もいる。そこで学級活動(2)や(3)の話し合いから意思決定し、実践することを継続して取り組んでいる。実践した後に、自分の定めた目標や取り組み方が良かったのかをふり返り、次の実践に活かしているところである。

また互いの思いが出し合える学級風土を作るために、学級活動(1)の集会活動では、友達の思いや考えが分かるもの、学校行事をより良いものにしようとする内容に取り組んできた。常に学級の課題解決につながるような議題を設定し、全員で話し合い、実践している。学級みんなで取り組むことがより良い学級づくりにつながることを日々確認している。

○ 本題材は、4年生から取り組んできた委員会活動が、全校生にとってどのような意義があるのかについて見つめ直す機会となる。そうすることで自分の果たす役割を考え、学校のために友達と協働して取り組むことの価値について考えることをねらいとしている。3月の委員会活動引継ぎ式を前にして本題材に取り組むことは、新年度の委員会活動に見通しを持ってスタートすることにつながると期待している。そうすることで最高学年としての責任を持ち、委員会活動の計画や運営に主体的に行動しようとする態度を養うことを目指している。

○ 指導にあたっては、事前に子どもたちの題材についてのアンケートを行う。委員会活動に対する思いを互いに共有することで問題意識を高め、これまでの活動のふり返りから課題をつかませたい。さぐるでは、6年生へのインタビューを見る中で、6年生の委員会活動に対する思いに気づかせる。また中学生からのメッセージ動画を見ることで、委員会活動が将来どのようなことにつながるのか期待を持たせたい。見つけるでは意見交流を通して広い視野で考え、自分に合った目標設定ができるように促す。最後にそれぞれの意思決定を共有し、今後の委員会活動への意識を高め、学校生活の充実と向上を進んで図ろうとする態度を育みたいと考える。

## 3 目指す子どもの姿

- ・自分に合った目標を立て、自己の良さを活かしながら他者と協働して取り組むことができる。
- ・意思決定したことに粘り強く取り組み、努力することができる。

## 4 評価規準

より良い生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を より良くしようとする態度
委員会活動の意義を理解し、自他の良さを活かしながら協働して目標達成に向かうために、必要な知識や行動の仕方、及び6年生の委員会活動への見通しをもつことを理解している。	他者と協働して働くことにおける課題を認識し、友達の考えも取り入れながら自分にできることを見つけて意思決定し、実践している。	他者と協働して見通しをもったりふり返ったりしながら、より良い学校づくりを目指して主体的に行動しようとしている。

## 5 事前の活動

月日	児童の活動	指導上の留意点
1月16日(金) きらきらタイム	自分自身の委員会活動の取り組みをふり返り、学級アンケートに答える。	これまでの委員会での活動について具体的にふり返ることができるように、きらきらファイル(キャリアノート)を活用する。委員会活動に対する思いについて具体的に書くことができるような項目を設定する。

## 6 本時のねらい

- ・委員会活動の意義を理解し、自分が果たす役割について考え、今後どのように取り組むのか意思決定し、より良い学校づくりに向かって実践することができる。

## 7 本時の指導計画

児童の活動	指導上の留意点・支援	目指す児童の姿 【評価の観点】（評価方法）
<b>つかむ</b> アンケートの結果から、課題をつかむ。 ・常時活動に参加できない日があった。 ・ハーフ委員会で司会を任されたが、うまく進行することができなかった。 ・話合いで意見を出せなかった。	<b>つかむ</b> ・アンケート結果をもとに、委員会活動に対するこれまでの思いを引き出す。 ・きらきらファイル（キャリアノート）をもとに自分たちの成長を想起する。	<b>【主】</b> アンケート結果や友だちの発言と、自分のふり返りを比べて、課題をつかもうとしている。 （観察）
<b>さぐる</b> 6年生のインタビュー映像を見る。 ・全校生のことを考えて活動していたんだ。 ・みんなが困らないようにいつも準備をしてくれていた。 ・見えないところで色々なことを考えてやってくれていたんだ。 中学生からのメッセージ映像を見る。 ・委員会活動でやっていることが中学校でも活かせるんだ。 ・自分もこんなふうになりたい。	<b>さぐる</b> ・6年生の考えてきたこととこれまで見てきた姿を関連付けて見るよう促す。 ・自分たちの頑張りにも気づくことができるようなインタビュー内容を設定する。 ・今の取り組みが今後どのようにつながっていくのか、期待感を持たせる。	
<b>見つける</b> 委員会活動でどのようなことができるかを考え、話し合う。 ・ハーフ委員会の前に、話し合うことを4年生に伝えておくことで色々な意見を出せるようにする。 ・5年生の中で役割分担をしておき、話合いがスムーズにいくように計画をしておく。 ・司会の原稿を作って、時間内に話合いが終わるようにする。	<b>見つける</b> ・グループや全体で交流しながら、多くの考えが出るようにする。（短冊の活用） ・具体的な取組方法を出せるよう助言する。 ・出た意見を板書で分類整理し、自己決定につながるようにする。	<b>【思・判・表】</b> になりたい自分たちの姿について具体的に考え、話し合っている。 （発言・ワークシート）
<b>決める</b> 自分にできることを決める。 ・ハーフ委員会の1週間前に掲示板に予定を貼っておきたい。 ・活動で困っている人がいないか、様子を見ておきたい。	<b>決める</b> ・継続して取り組める方法かどうか、考えるよう助言する。 ・意思決定したことを交流し、目標を定めた児童を評価する。	<b>【知・技】</b> より良い活動になるために自分の目標を設定し、自分にできることを理解している。 （ワークシート）
教師の話聞く。	広い視野で考え、自己決定したことを価値づける。	
授業をふり返る。	今後どのような思いで委員会活動に臨むのか、意思表示を引き出し、意欲を高める。	<b>【主】</b> 今後どのような願いを持って活動するのか、具体的に書こうとしている。 （発言・ワークシート）

## 8 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点・支援	目指す児童の姿 【評価の観点】（評価方法）
1月23日 (金)～ 2月18日 (水)	委員会活動の取り組みを記録に残し、それをもとにふり返る。	次回のハーフ委員会後にそれまでの取り組みをふり返る機会を設定し、継続して取り組むことができるよう見通しを持たせる。	<b>【思・判・表】</b> 決めたことについて工夫して実践している。（観察） <b>【主】</b> 実践したことをふり返り、今後の委員会活動に活かそうとしている。（ワークシート）

